

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018 年 12 月 11 日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/12/11 17:42:57

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018 年 12 月 11 日号

1. 学会関連情報

○[速報] 企画シンポジウム及び総会開催のお知らせ

2019 年 6 月 20 日（木）終日～21 日（金）午前中 開催場所は東京都内を予定。総会は 6 月 20 日（木）に開催。

○企画シンポジウム プログラム最終確定版公開「医療における放射線防護を考える -医療被ばくと従事者被ばく-」
事前申込受付中

2019 年 1 月 12 日（土）13:30～17:00 東京医療保健大学国立病院機構キャンパス第 2 別館 H2511

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=74>

○放射線防護標準化委員会「現存被ばく状況における廃棄物の管理に関する防護のガイドライン」公聴審議会開催の
ご案内

2019 年 1 月 12 日（土）10:30～12:00 東京医療保健大学国立病院機構キャンパス第 2 別館 H2511

（上記シンポジウムと同じ会場です）

申込み方法等は下記をご覧ください。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=133>

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=14>

○編集委員会 10 月中旬に電子ジャーナルとして発行しました「保健物理」53-3 号につきまして、下記の電子書籍
サイトより冊子体（紙媒体）として購入頂けるようになりましたので、お知らせいたします。

https://honto.jp/netstore/pd-book_29385662.html

○韓国放射線防護学会 (KARP) と JHPS の若手研究者ジョイントワークショップが韓国、済州島で開催され、保物若手研
から派遣した 2 名が研究発表を行いました。（11 月 21-23 日）

昨年メルボルンで開催された AOCGRP-5 での IRPA Young Generation Network (YGN) のパネルディスカッションを踏ま
えてお互いの学会の年會に若手研究者を派遣する交流が始まり、今回はその第 1 回目です。

来年の仙台合同大会の前日（12 月 4 日）の JHPS-SRP-KARP 若手研究者 (IRPA YGN) 国際発表会には KARP からの若手研
究者をお迎えする予定です。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=137>

2. 関連する研究情報

○The 3rd International Conference on Dosimetry and its Applications (ICDA-3)

(2019 年 5 月 27-31 日, Lisbon, Portugal)

Abstract 締切:12 月 15 日 (extended)

<http://www.ctn.tecnico.ulisboa.pt/icda-3/index.html>

○ (公財) 放射線影響協会 国際交流助成事業の募集について

「国際研究集会海外派遣助成」, 「調査研究海外派遣助成」, 「外国人研究者招へい助成」

2019 年度第 1 期分 (2019 年 4 月~7 月出発分) 公募中 (締切:2019 年 1 月 15 日)

http://www.rea.or.jp/kikaku/kenkyujyosei/kenkyujyosei_main.html

○核融合科学研究所 2019 年度共同研究公募 (締切:2019 年 1 月 7 日)

<http://www.nifs.ac.jp/collaboration/index.html>

(論文情報)

○Scientific Reports. 2018 Dec 05;8(1):17661

福島県における第 1 回甲状腺超音波検査からの甲状腺癌の地理的分布の空間解析

第 1 回甲状腺超音波検査からの甲状腺癌の地理的分布に統計的に有意な偏りやクラスターは見られなかった。本研究の結果により、検出されている甲状腺癌は放射線被ばくの違を含めた地理的要因によるものではないことが示された。

Spatial analysis of the geographical distribution of thyroid cancer cases from the first-round thyroid ultrasound examination in Fukushima Prefecture

Nakaya T et al

<https://www.nature.com/articles/s41598-018-35971-7>

○J Radiol Prot. 38(4) 1454-1468

スペクトル測定様式でない測定器による事故後の大規模甲状腺モニタリング

シンチレーション型のサーベイメータについて模擬線源を利用して評価した結果、測定 5 日前に I-131 を 1 回吸入したとしたときでも、5 歳の小児で甲状腺預託等価線量 10mSv の評価が可能であることを示した。

Large-scale individual thyroid monitoring following nuclear accidents by means of non-spectrometric devices

Vilard I et al

<http://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/aae85e/meta>

○Radiation and Environmental Biophysics, published online: 22 November 2018

3 年間の RiskEdu 研究プロジェクト (<http://www.riskedu.se>) の報告。

科学教育研究者、科学教師及びリスク評価、放射線リスク管理の研究者の高校生を対象として共同研究で、放射線リスクをファクトを提示するのではなくより広い見地からのリスクを示すことによってソシオサイエンスの (社会科学 的な) 課題として教育を行った。推奨されたもの以外のさまざまな資料を結びつけることで 2/3 の生徒は照射された 毒について許容する結論を出した。さらなる解析が必要であり、このような試みが続けられることを希望する。

Educating about radiation risks in high schools: towards improved public understanding of the complexity of low-dose radiation health effects

Wojcik A et al

<https://link.springer.com/article/10.1007/s00411-018-0763-4>

○Radiation Protection Dosimetry, Volume 182, Issue 1, December 2018

第15回WHO-REMPAN緊急被ばく医療国際専門家会議抄録掲載(2017年7月3-5日ジュネーブ、スイス開催)

<https://academic.oup.com/rpd/issue/182/1>

3. ニュースや社会の動き

○国際放射線防護委員会(ICRP)の第3専門委員会が2018年11月8-11日に中国で開催した年会の要約を発行。

<http://www.icrp.org/admin/Summary%20of%20November%202018%20C3%20Meeting%20Beijing.pdf>

4. これからのイベント

○東京工業大学 科学技術創成研究院先導原子力研究所 「廃止措置技術・人材育成フォーラム」

(12月26日、東工大 大岡山)

<http://www.nr.titech.ac.jp/decomi/TokodaiForum2018.html>

○原子力学会 第10回YGN若手勉強会(2019年1月10日、東工大田町キャンパス)

「放射線問題と国連～2つの『国連』報告を読み解く～」

https://aesj-ygn.org/uploads/2018/10thYGN_RadandUN.pdf

○放射線災害・医科学研究拠点 第3回国際シンポジウム「Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response(災害準備とその対応に向けたコミュニティー内での協働知)」

(2019年1月13-14日、セレクトン福島)

https://home.hiroshima-u.ac.jp/housai/topic_in9.html

○福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

国際シンポジウム「Build Back Better: from the World to Fukushima, from Fukushima to the World」

(2019年1月14-15日、セレクトン福島)

よりよい復興 ～世界から福島へ、福島から世界へ～

http://fukushima-mimamori.jp/news/media/about_symposium.pdf

○原子力規制委員会・量子科学技術研究開発機構「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成事業第2回ネットワーク合同報告会」

(2019年1月16日、トラストシティ カンファレンス・丸の内)

<http://jrsm.jp/public/0238.html>

○原子力規制人材育成事業

「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム」

大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム

原子力災害・緊急モニタリング ウィンターセミナー

(2019年1月21日-22日、長崎大学グローバルヘルス総合研究棟) 募集期間: 12月31日まで

<https://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/nuric/ricnew/docs/WINTER%20SEMINAR2019.pdf>

○J-PARC センター(JAEA/KEK) 第6回加速器施設安全シンポジウム

(2019年1月24-25日、いばらき量子ビーム研究センター)

中心テーマ: 「個人線量管理」と「火災」

<http://j-parc.jp/symposium/anzen2019/index.html>

○放射線安全フォーラム 第58回 放射線防護研究会 (2019年1月26日、千代田御茶の水ビル)

テーマ「IAEAとの連携(仮題)」(2018年12月8日より日程変更)

<http://www.rsf.or.jp/events.html>

○KEK 放射線科学センター 第33回「放射線検出器とその応用」研究会 (2019年1月28-30日、KEK 研究本館)

講演申込締切 : 12月17日

<https://www-conf.kek.jp/rdetconf/symposium.html>

○JAEA 原子力人材育成センター 第10回リスクコミュニケーション基礎講座

(2019年2月14-15日、JAEA 東海 原子力人材育成センター)

リスクコミュニケーション概論や手法の講義の後、対話や質疑の場を想定、ロールプレイ等の演習を行います。

https://nutec.jaea.go.jp/training_other01.html

○東京大学原子力専攻 国際的視野を持つ廃止措置マネジメントエキスパート育成研修

(1) プロジェクトマネジメント研修(第2回)(2019年1月7-9日@敦賀)

(2) プロジェクトマネジメント実習(2019年2月13-15日@東海)

(3) 海外研修(2019年3月10-15日@アメリカ)

<https://hairo.net/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○(公財)環境科学技術研究所 任期付研究員(環境影響研究)募集について 採用人員2名

(締切:2019年1月15日必着)

http://www.ies.or.jp/profile_j/profile108_20190115.html?20181206

○JAEA 物質科学研究センター 研究系職員キャリア採用 研究分野: 中性子を利用した物質科学研究

(締切:12月21日必着)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/career/273/>

○イーター国際核融合エネルギー機構における職員の公募（締切:2019 年 1 月 6 日又は 8 日）専門職員 7 名

<https://www.iter.org/jobs>

○原子力損害賠償・廃炉等支援機構正職員募集（締切:2019 年 1 月 20 日）

http://www.ndf.go.jp/saiyo/saiyo_top.html

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —
【発 行】 一般社団法人日本保健物理学会
【編 集】 同企画委員会
【発信元】 同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp
— —